

令和6年度 学校だより



かづま
～共に学び、共に生きる～



令和7年1月24日
石巻市立鹿妻小学校
第11号
TEL 0225-93-9711
FAX 0225-93-9712

校長室から

校長 後藤 忠宏

3学期がスタート 1年のまとめの時期に

令和7年、2025年を迎え、早3週間が過ぎようとしています。若干の体調不良者等がみられるものの、落ち着いた雰囲気のもと、順調に3学期のスタートが切れましたこと、改めて保護者の皆様、地域の皆様にお礼申し上げます。

始業式では、昨年、そして今年の干支にちなんで、子供たちには「竜頭蛇尾」にならないように、そして、改めて自分のめあてを意識し達成できるよう一日一日を大切に過ごし「チーム鹿妻」としてやるべきことにみんなでしっかり取り組もうという話をしました。

御家庭におかれましても、次年度の進級・進学を見据えお励ましをお願いいたします。

また、過日、保護者の皆様には、御多用のところ「学校評価アンケート」に御協力いただきありがとうございました。子供たちの学校生活や学習状況等につきまして、大変貴重な御意見をたくさん頂戴することができました。アンケートの結果と本校における今年度の学校運営の方針や重点事項、また実際の教育実践と照らし合わせながら、各項目についての考察や今後の指導の具体的手立て等を、この学校だよりを通して数回に渡り示させていただきますので、是非御一読いただきたいと思います。

なお、改善しなければならない点等につきましても、すでに全職員で共有し話し合いをしながら、次年度の計画作成等に反映させております。今回の御意見を謙虚に受け止め、今後の教育活動に生かしてまいりますので、引き続き「共に子供を育てるパートナー」としてよろしくお願いいたします。



2月の主な行事予定

日	曜	主 な 予 定	日	曜	主 な 予 定
1	土		15	土	かづま読書の日
2	日		16	日	かづま読書の日
3	月	地震想定ショート訓練（～7日の間）	17	月	
4	火	SC 司書 JTE	18	火	お話朝会 SC 司書 JTE
5	水		19	水	
6	木	長浜幼稚園学校見学 司書 ALT	20	木	学校区パトロール（全校5校時限） 司書 ALT
7	金	読み聞かせ 6学年PTA行事 委員会活動⑩	21	金	学習参観日 弁当日 法山寺幼稚園学校見学
8	土		22	土	飲酒運転根絶運動の日
9	日		23	日	天皇誕生日
10	月	はまなす会卒業・進級を祝う会（万石浦中）	24	月	振替休業日
11	火	建国記念の日	25	火	SC 司書 JTE
12	水	鹿妻コンサート（業間 1週間程度） SC	26	水	
13	木	幼保こ小連絡会 司書 ALT	27	木	引継式（3校時） 学校運営協議会 司書 ALT
14	金	民生委員との連絡会	28	金	委員会活動⑪

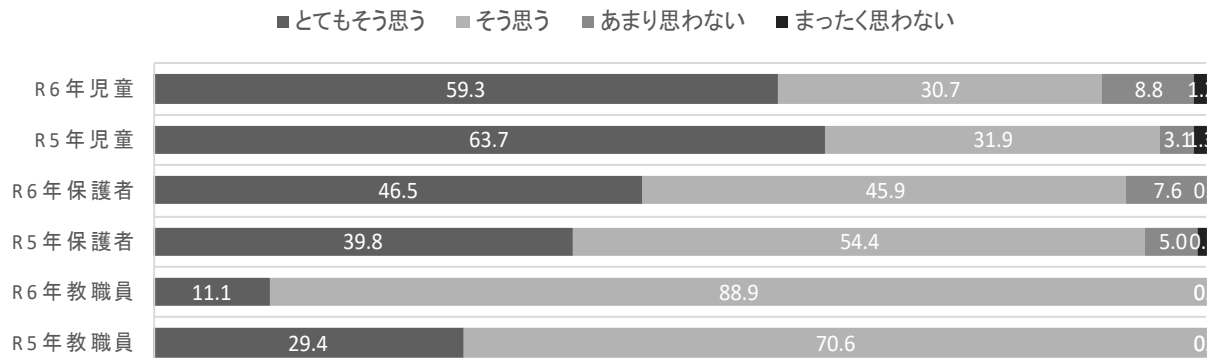
※ALT;外国語指導助手 SC;スクールカウンセラー JTE;外国語指導補助 司書:学校司書

令和7年3月の主な予定

○11日（火）みやぎ鎮魂の日（休業日） ○19日（水）卒業式 ○24日（月）修了式

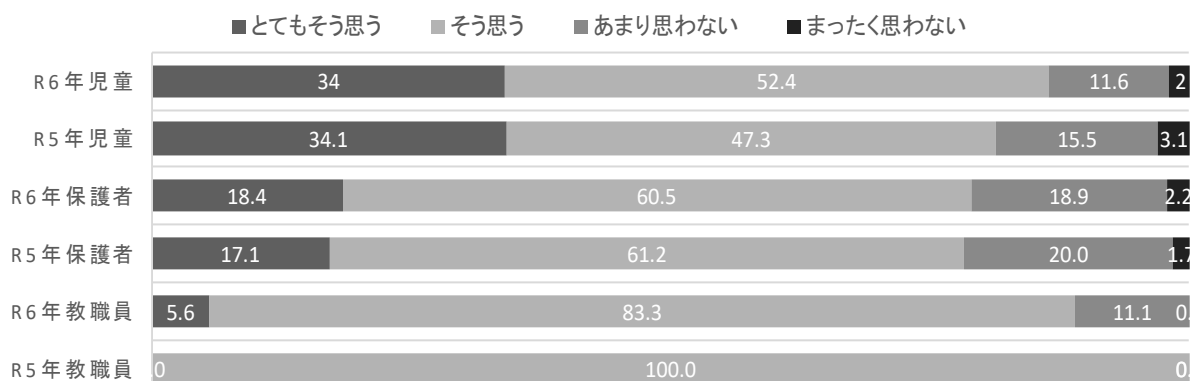
令和6年度 学校評価アンケート結果について PART 1

1 「学校が楽しい。」 【%】



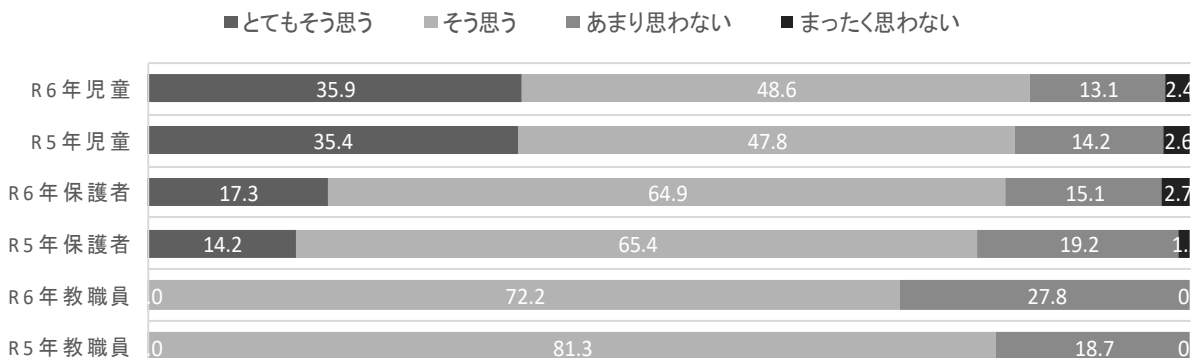
児童と保護者の皆様の肯定的な回答、「とてもそう思う」「そう思う」を合算した値が、約90%となっています。「学校が楽しい」と感じる場面は、「学習が分かる・楽しい」「友達と遊んだり、活動したりするのが楽しい」等の理由が考えられます。ただ、児童・保護者共に、若干ではありますが、否定的な回答「あまり思わない」「まったく思わない」の割合が増えています(児童5.6%, 保護者1.8%)ので、これからも、学習面や生活面、交友関係について、児童の実態をしっかりと把握し、楽しく学校生活を送ることができるように努めてまいります。

2 「学習に自主的に取り組んでいる。」 【%】



児童と保護者の皆様の肯定的な回答の割合が若干増えて(児童5%, 保護者0.6%), 約80%となりました。自分で学習する方法を見つけることができ、自主的に学習に取り組むことができる児童が増えてきたものと思われます。教職員の回答が約1割否定的な回答となっていますが、これは「本校の子供たちならもつとできるのでは」という期待が表れているものです。引き続き児童自ら興味・関心を持ち、学習に取り組めるような教育活動を推進して参ります。

3 「授業が分かる。」 【%】



児童と保護者の肯定的な回答の割合が昨年度と同様、約80%を超えており、授業内容の理解度が高くなっています。しかし、教職員の肯定的な回答の割合が減少し、否定的な回答の割合が9.1%増えました。児童は学習内容の理解はできてきているものの、教職員側では更に、理解度を高めたいという思いがあります。児童一人一人の理解度を確認しながら、学び合い等の学習形態や指導体制を工夫したり、児童のつまづきを把握して復習を多く取り入れたりとしながら、学習内容の定着を図ってまいります。